



## テスト始まる

▼5月28日(月) ●●  
いつも通り

☆胃がきりきり痛む日々 → チリ

▼5月29日(火) ●●

情報の授業が難しかった。●●さんと●●さんがいなかったので、テンションが下がった。けど、昼休みにダンスやったのが楽しかった(他のクラスの人と自主練です)。それと保戸塚先生の黒板の字がきれいだった。ああいう風に見えるようになりたい。

☆チリ → リンゴが落ちたことで発見された万有引力

▼5月30日(水・金授業) ●●

下を見ることは妥協すること、上を見ることは立ち止まること、横を見ることは他人と肩を並べること、後ろを見ることは後悔すること、残された道はただ一つ、前を向くこと。持てる力を精一杯出して、明日はみんなで頑張るぞおおおお!!!!

☆リンゴが落ちたことで発見された万有引力 → 苦しい

▼5月31日(木) ●●

昨日に引き続き●●が腹痛で苦しんでいるなか、自分も腹痛で死ぬかと思いました〜つか、いろんな意味で死にました〜。

☆苦しい → イライラする (by●●)

▼6月1日(金) ●●

数学が死亡した…(泣)。赤点の危機~そして、●●、留年の危機じゃね!? 大丈夫かな…。

☆イライラする (by●●) → ダンゴムシ

を筆箱で飼ってたりしない? 一年生の時と  
かに

\*

現代文は採点終了。私が担当しているのは他のクラスだが、採点結果にクラスによってそんなに大きな差が出るわけではない。きっと君たちの手元にも、まずまずの結果が帰ってくるだろう。漢字を20点分も出題しているのは、それが国語力の基礎であるとの認識であるとともに、ここをしっかりとやっておけば、赤点の危険性が大幅に減るだろうという配慮でもある。コツコツやれば必ずできるようになるし、将来的にもプラスになる。今回20点満点の人がかなりいたが、それが正常な結果であると思うので、期末考査の時にもしっかり取り組んでほしい。

国語は、現代文も古典も全学年共通問題である。問題を作成する段階で担当者が綿密な打合せをするし、試験後は採点をしながら採点基準についても話し合う。だから、「習っていない先生の出題だから不利になる」というようなことはない。むしろ、授業でやったことを踏まえながらも、それをより一般的・応用的な問題へと発展させる形で出題するので、独りよがりの出題が減り、君たちの実力を養成するといった意味からも、イイ問題になっているのではないかと思う。

さて、今日は古典。最初の考査なので、出題は極めて基礎的なものである。健闘を期待したいし、もし出来ない問題があったら、ぜひ考査終了後に復習しておいてほしい。